

# 令和2(2020)年度 学力向上検証委員会のまとめ

## 1 目的

とちぎ学力向上推進事業（とちぎっ子学力アッププロジェクト）を検証し、県教育委員会が実施する学力向上対策の改善に資する。

## 2 期 日

- ・第1回 令和2(2020)年 8月19日(水)
- ・第2回 令和2(2020)年 11月11日(水)、令和2(2020)年 11月17日(火)
- ・第3回 書面にて開催

## 3 会 場

県庁舎北別館会議室、真岡市立山前小学校、那須町立黒田原小学校

## 4 学力向上検証委員

11名(大学教授、県小学校長会代表、県中学校長会代表、県高等学校長会代表、県小学校教育研究会代表、県中学校教育研究会代表、市教育長部会代表、町教育長部会代表、県PTA連合会代表、総合教育センター所長、教育事務所長会代表)

## 5 主な意見

### (1) 学力向上指導員派遣事業について

- 学校への聞き取りや調査結果の分析等をとおして、各学校の状況を把握し、それぞれの実態に応じた支援を行っており、大変有効である。
- 本事業において、指導員がどのように市町教育委員会や学校と連携し、支援を進めてきたのか等について、発信していくことが大切である。

### (2) 学力向上推進リーダー配置事業について

- 多くの若い先生方は、どのように学習指導の改善・充実を図っていくか悩んでおり、日常の中で気軽に相談できる学力向上推進リーダーの存在はありがたい。また、複数校兼務しているため、各学校のよい事例を紹介する等、学校と学校をつなぐ存在となっている。
- 学力向上推進リーダーの業務の効率化を図るために、各推進リーダーのよい取組を共有していくことが大切である。

### (3) とちぎっ子学習状況調査について

- 今年度は、コロナ禍において県内同一日による実施は行わなかったが、多くの学校が実態に応じて調査を活用したことが確認でき、とちぎっ子学習状況調査を要とした検証改善サイクルの運用が定着していることが理解できた。

### (4) 保護者への啓発について

- 本プロジェクトの更なる充実を図るためには、保護者の理解を得ることが大切である。そのため、保護者用リーフレットの内容を精選していくとともに、周知の方法を工夫するなど、有効な情報の発信に努めていただきたい。

## 6 委員長の総括

本委員会では、プロジェクトの更なる充実を図り今後の学力向上対策の改善に資するため、これまで実施してきた諸施策等について様々な立場の委員から意見をいただいた。学力向上指導員は、分析結果から把握した実態に沿って、学校や市町に助言できることが強みである。今年度で学力向上指導員派遣事業は終了するが、本事業の成果と課題を踏まえた新規事業につなげ、今後学校で必要となる支援を重点的に行っていただきたい。学力向上推進リーダー配置事業は4年目を迎え、初年度と比べ学力向上推進リーダーの支援内容が充実していることが確認できた。本事業の継続が可能となるよう、様々な角度から検証を続けることが大切である。とちぎっ子学習状況調査は、学校にとって有効な調査にしていく必要があるため、国の動向を注視しつつ、内容や調査方法等について慎重に検討を重ねてほしい。

今後とも、県教育委員会は市町教育委員会との連携により、本プロジェクトにおける施策の実効性を高めることで、児童生徒一人一人の学力向上に向けた取組の改善・充実を図ってほしい。